



FULL HEIGHT DOOR®

STEALTH MODE ステルス枠

フルハイトドア®

施工手順書①-2

木 工 事

ステルス枠・準耐火仕様

壁石膏ボード15mm

ステルス枠/インセット枠 施工手順書一覧

共 通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.ステルス枠・標準仕様 / ①-2.ステルス枠・準耐火仕様 /
 ①-3.木工事・インセット枠仕様

②クロス・塗り壁工事 (ステルス枠・インセット枠共通)

③扉・金物の取付 (ステルス枠・インセット枠共通)

③-1. 片開き戸、親子戸
 ③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)
 ③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)
 ③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④～⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸
 ④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸

⑥ヴェトロ・ミラノ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット
 ⑦-2. アウトセット片引き戸(上吊)

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイング戸 ⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、引分け戸



施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆりみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

□ ステルス枠の部材名称

forステルス【標準仕様】

施工手順書2023/8改訂

【共通事項】

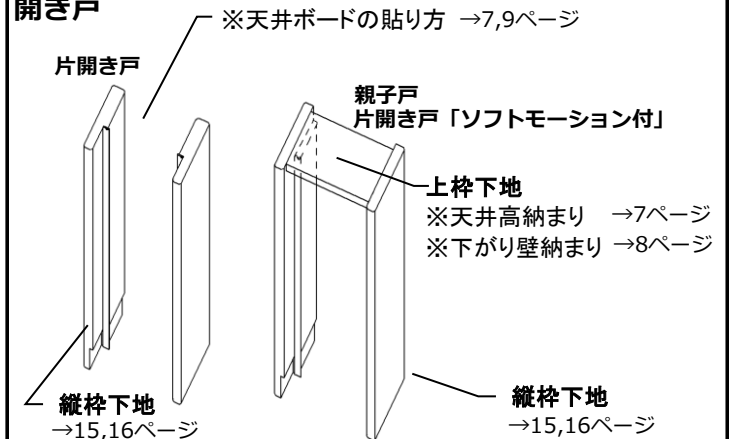
各部材は全てプレカットで納品されます。
5ページの「開口部の確認」を参照ください。
現場でカットされる場合は、別途レール・扉を
注文する必要があります。

※開口毎に本表部材が納品されます。

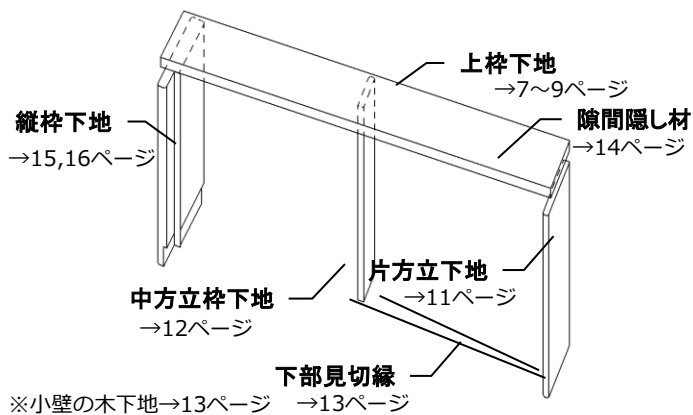
※片開き戸には14ページ記載の開口定規が納品されます。

※2023vol2カタログより、引き戸(上吊)上枠下地は
「縦枠勝ち納まり」から「上枠勝ち納まり」へ変更になり、
上枠長さはw下地枠外寸法で納品されます。

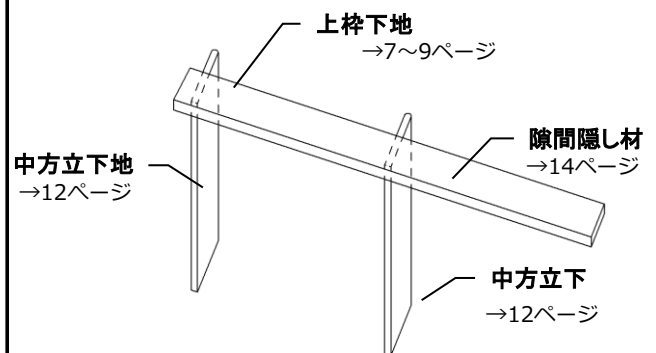
開き戸



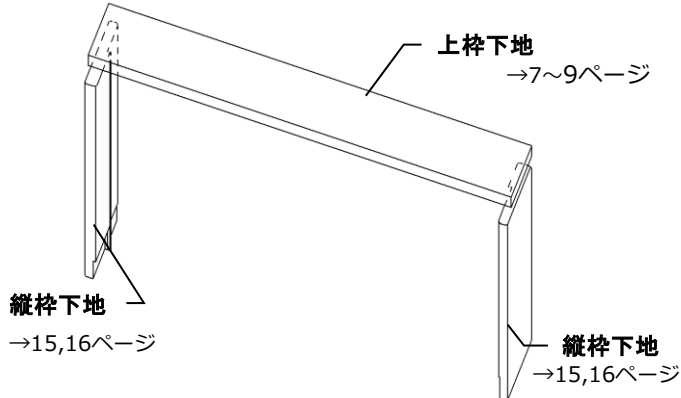
片引き戸(上吊)、2・3枚引込み戸(上吊)



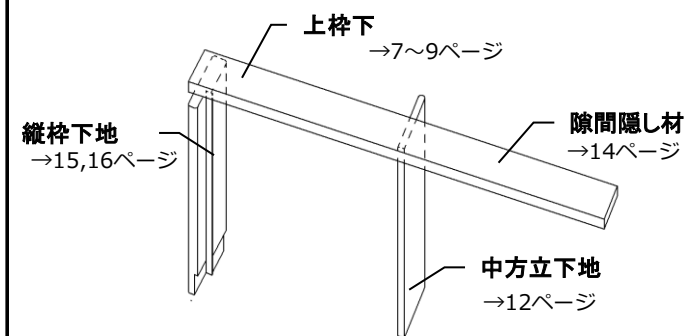
アウトセット片引き戸(上吊)・エンド枠無し



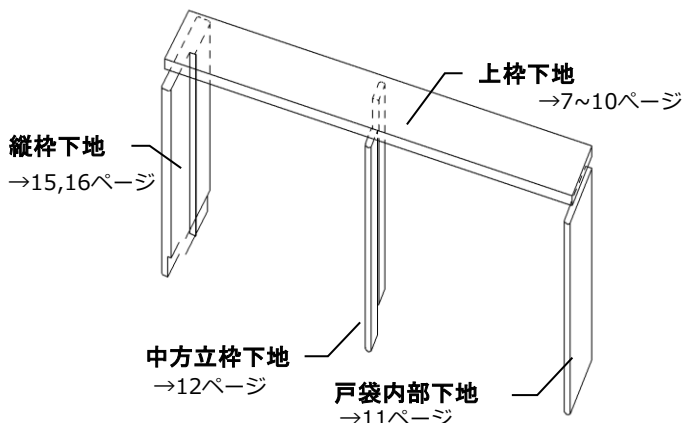
2枚引違い戸(上吊)



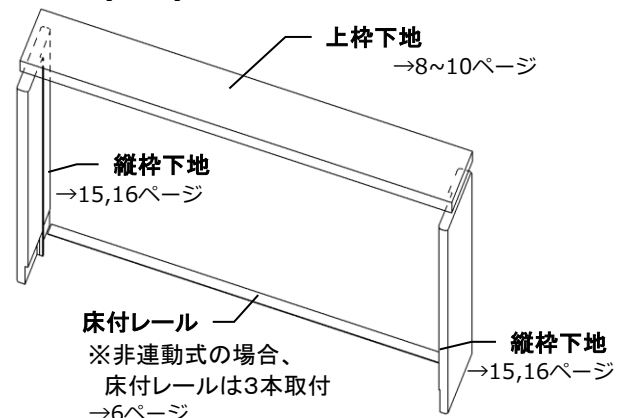
アウトセット片引き戸・エンド枠付き(上吊)



引込みポケット戸(上吊)



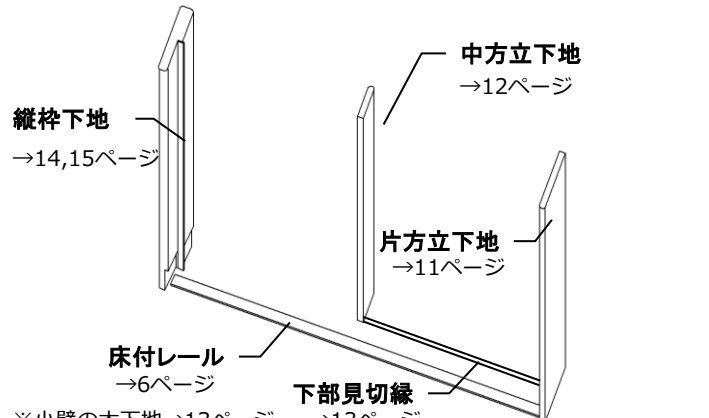
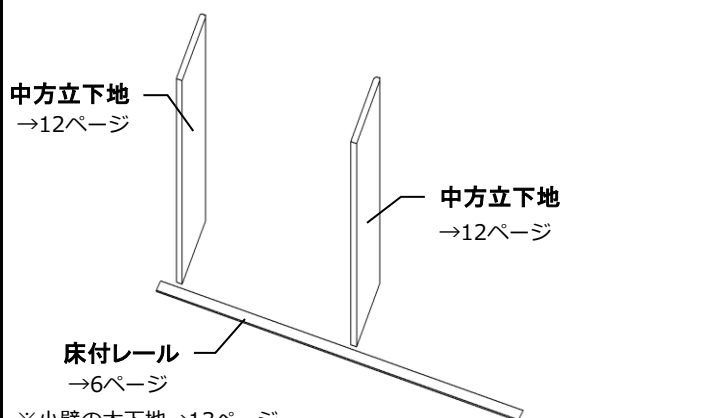
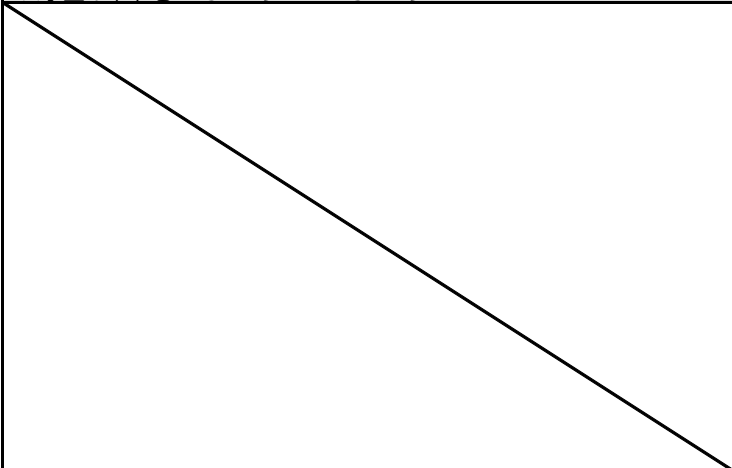
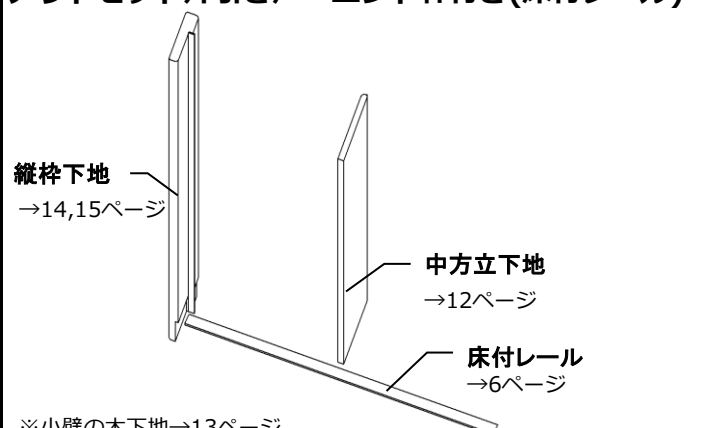
3枚引違い戸(上吊)連動式



□ ステルス枠の部材名称

forステルス【標準仕様】

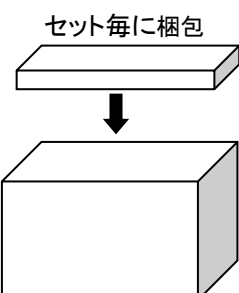
施工手順書2023/8改訂

片引き戸(床付レール) 	アウトセット片引き戸・エンド枠無し(床付レール) 
	アウトセット片引き戸・エンド枠付き(床付レール) 

下地枠金物箱

施工手順書

セット毎に梱包



邸別段ボール箱

●縦枠下地取付用のコーススレッドビス



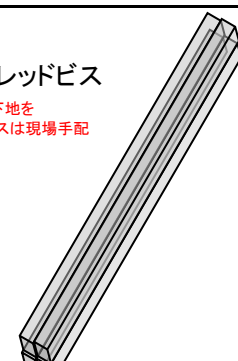
※その他の下地を
取付けるビスは現場手配

●レール
セット毎に邸別梱包

※内容につきましては
別冊「扉・金物の取付」を参照ください。

●ヒンジ、上ローラー等

※内容につきましては別冊「扉・金物の取付」を
参照ください。



シンプル巾木 厚み7mm×高さ30mm×長さ2700mm(ステルス枠推奨巾木) →16ページ

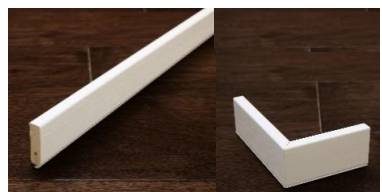
※下記3タイプの設定がございますのでご注文時に選択してください。



シンプル巾木とコーナー役物



溝付シンプル巾木とコーナー役物

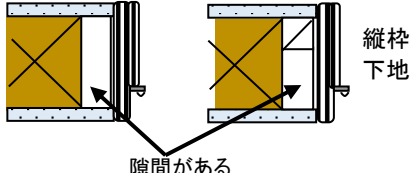
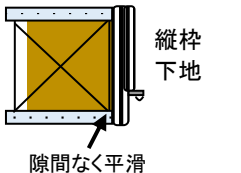
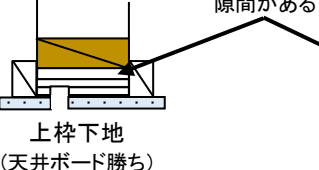
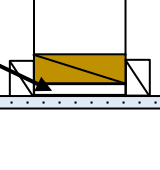
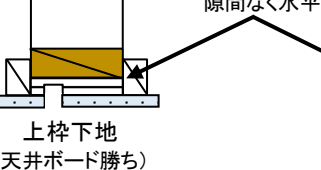
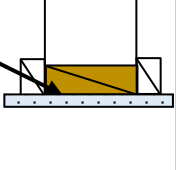


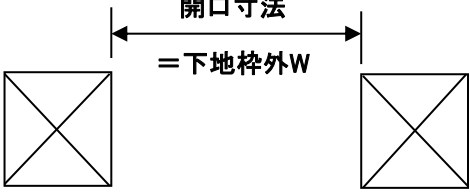
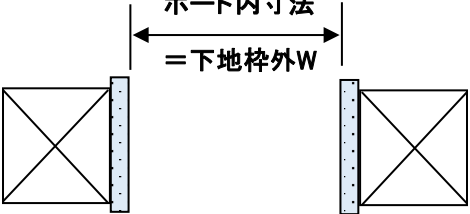
クッション巾木とコーナー役物

開口部の確認

forステルス【準耐火仕様】

施工手順書2023/8改訂

開口部(躯体側木下地)の確認		共 通			
下地枠を取り付ける前に、躯体側に木下地が隙間なく平滑に入っているか確認をしてください。	【引き戸・開き戸共通】  縦枠 下地 隙間がある	【引き戸・開き戸共通】  縦枠 下地 隙間なく平滑	下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。		
	×	○			
	上枠下地が【ある場合】  隙間がある 上枠下地 (天井ボード勝ち)	【無い場合】  隙間がある 上枠下地 (天井ボード勝ち)		上枠下地が【ある場合】  隙間なく水平 上枠下地 (天井ボード勝ち)	【無い場合】  隙間なく水平 上枠下地 (天井ボード勝ち)
	×	○			
ポイント	※躯体側の木下地（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。 ※上枠下地が無い納まりの場合でもクロスヨレ・ヒビを防ぐために木下地は隙間なく平滑に入れてください。				

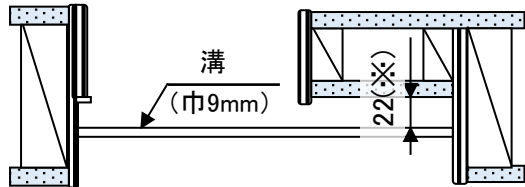
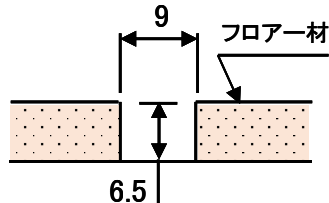
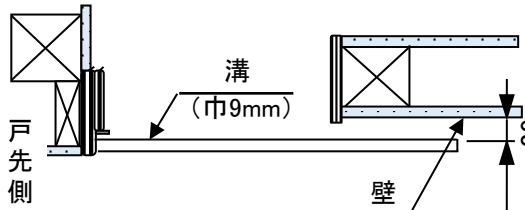
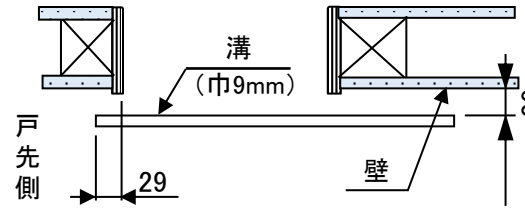
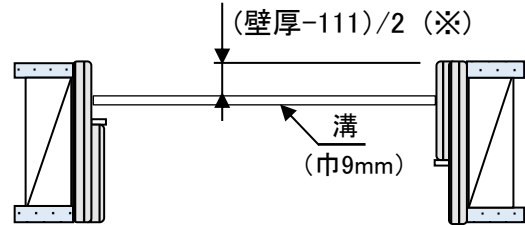
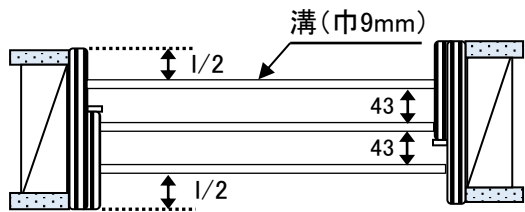
開口部(寸法)の確認		共 通
下地枠を取り付ける前に、開口部の巾・高さ寸法を確認してください。 【注意事項】 準耐火仕様で入隔壁にステルス枠を取付ける場合は、壁の石膏ボード(防火被覆)を通してください。	【袖壁納まりの場合】  開口寸法 = 下地枠外W	開口寸法  (F.L. 上枠下地外) 開口寸法 ▼F.L(床)仕上げ
	【両入隔壁納まりの場合】  ボード内寸法 = 下地枠外W	
	【巾寸法】 開口寸法 (= 下地枠外W)	
		【高さ寸法】 上枠下地がある場合
ポイント	※開口寸法は邸別の納まり図でご確認ください。 ※納まり図の高さ寸法はF.L(床仕上げ面)からの寸法となっているので注意してください。	

□床付レールの取付位置

forステルス【標準仕様】

施工手順書2023/8改訂

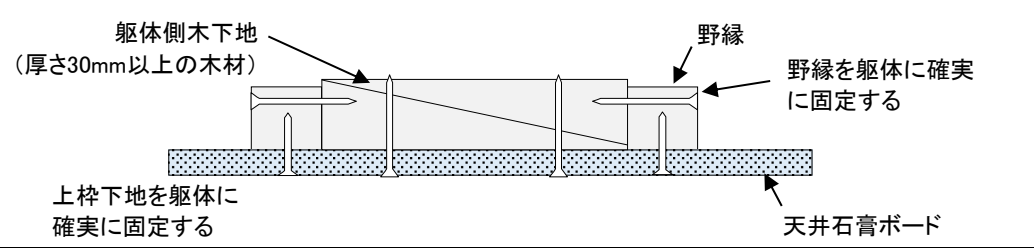
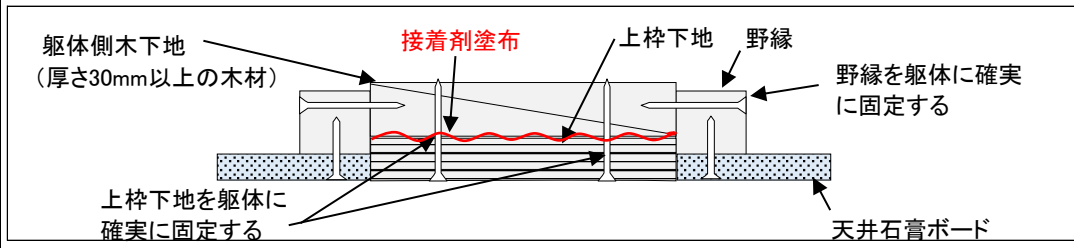
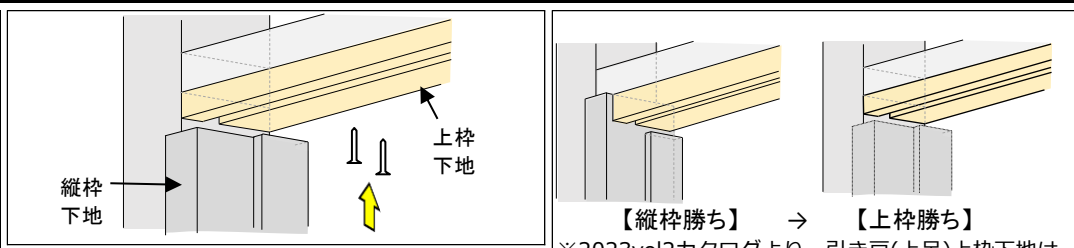
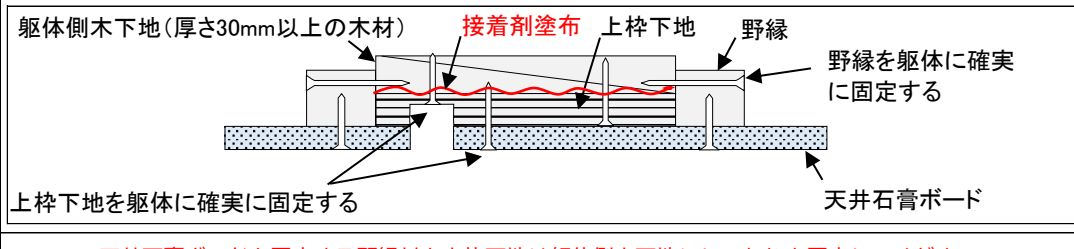
床付レール（埋込Vタイプ）を取付ける場合の床溝加工位置

片引き戸 床付レール(埋込V)	 溝 (巾9mm) 22(※) 29 ※塗り壁の場合：25 ボード面からの寸法となります	 9 フローア材 6.5 床付レール (埋込V) 溝加工寸法は巾9mm×深さ6.5mm 床付レール（埋込V）がきつく入らなかったり、 緩くて外れてしまわないように、加工寸法を守っ てください。 ※本表は床付レール（埋込V）の場合を示します。 ※床付レール（面付）は床仕上げの上から同梱のビス で取付けます。
アウトセット 片引き戸エンド枠付き 床付レール(埋込V)	 溝 (巾9mm) 戸先側 壁 29 29 ※塗り壁共通 ボード面からの寸法となります	
アウトセット 片引き戸エンド枠無し 床付レール(埋込V)	 溝 (巾9mm) 戸先側 壁 29 29 ※塗り壁共通 ボード面からの寸法となります	
3枚引違い戸 (上吊+連動タイプ) 床付レール(埋込V)	 (壁厚-111)/2 (※) 溝 (巾9mm) 29 ※マルコシリーズの場合：(壁厚-101)/2	
3枚引違い戸 (上吊+非連動タイプ) 床付レール(埋込V)	 溝(巾9mm) 1/2 43 43 1/2	
ポイント	※床付レールは（埋込V）と（面付）の2タイプをご注文時に選択できます。 ※床付レール（埋込V）を埋め込む溝は、縦枠面から縦枠面までとしてください。 ※マルコシリーズは扉厚が異なるため床付レール(埋込V)の取付位置寸法が異なりますのでご注意ください。 ※2枚引違い戸(上吊)は床付ガイド納まりが標準設定のため、床付レールは取付きません。	

□上枠下地の取付【天井高納まり】

forステルス【標準仕様】

施工手順書2023/8改訂

親子戸、片開き戸、引き戸(床付レール)	
【片開き戸、引き戸(床付レール)・標準仕様】 上枠下地(神谷支給品)はありませんので、天井石膏ボードを張り伸ばしてください。	 上枠下地が取付かない場合の天井ボードの貼り方(後頁9ページ参照)
【片開き戸・OPソフトモーション付/親子戸・標準】 天井に金物が取付くため、上枠下地が取付きます。 【注意】 縦枠勝ち、上枠下地負けで納めます。	 「ソフトモーション付」の場合は、上枠下地の向きを確認してください。
上枠下地を接着剤・取付ビス(現場手配品)併用で躯体側木下地に固定します。(縦枠下地勝ち) その際、上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。	 天井石膏ボードを固定する野縁材と上枠下地は躯体側木下地にしっかりと固定してください。 しっかり固定されていないと、クロスヒビ、ヨレ、塗り壁のヒビの原因となります。
引き戸(上吊)	
上枠下地を接着剤・取付ビス(現場手配品)併用で躯体側木下地に固定します。 その際、上枠下地の裏側には30mm以上の木材を入れてください。 【注意】 縦枠負け、上枠下地勝ちで納めます。 【注意】 扉(40Kg/枚)を吊り込んだ時に上枠が垂れ下がらないように固定してください。	 上枠下地を取り付けた後、天井石膏ボードを貼り、縦枠下地を取り付け(後頁15,16ページ参照)ます。 【縦枠勝ち】 → 【上枠勝ち】 ※2023vol2カタログより、引き戸(上吊)上枠下地は「縦枠勝ち納まり」から「上枠勝ち納まり」へ変更になり、上枠長さはw下地枠外寸法で納品されます。  天井石膏ボードを固定する野縁材と上枠下地は躯体側木下地にしっかりと固定してください。 しっかり固定されていないと、クロスヒビ、ヨレ、塗り壁のヒビの原因となります。
ボイント	※上枠下地の取付にはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、下穴を空け、レールビスと干渉しない位置でビス留めしてください。 ※上枠下地枠取付後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。 ※上枠下地の裏側には、必ず30mm以上の木材を入れてください。

□上枠下地の取付【下がり壁納まり】

forステルス【標準仕様】

施工手順書2023/8改訂

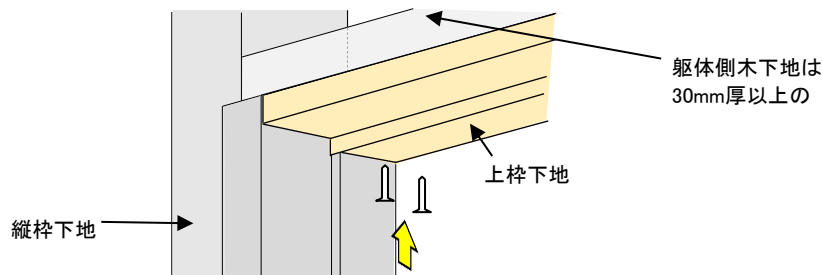
親子戸、片開き戸

上枠下地に接着剤を塗布し、ビス(現場手配品)で躯体側木下地に固定します。

※躯体側木下地の厚みは30mm以上としてください。

【注意】

縦枠勝ち、上枠下地負けで納めます(縦枠下地は上部加工済)



上枠下地の長さはw下地枠内寸法で納品されますので、縦枠下地勝ち、上枠下地負けで納めます。

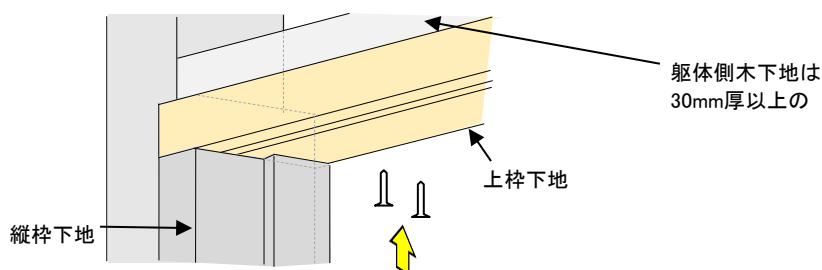
引き戸(上吊)

上枠下地に接着剤を塗布し、ビス(現場手配品)で躯体側木下地に固定します。

※躯体側木下地の厚みは30mm以上としてください。

【注意】

縦枠負け、上枠下地勝ちで納めます。



上枠下地の長さはw下地枠外寸法で納品されますので、縦枠下地負け、上枠下地勝ちで納めます。

ポイント

※上枠下地の取付にはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、下穴を空け、レールビスと干渉しない位置でビス留めしてください。

※上枠下地枠取付後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。

※上枠下地の裏側には、必ず30mm以上の木材を入れてください。

□天井ボードの貼り方、 上枠下地取付時の注意点

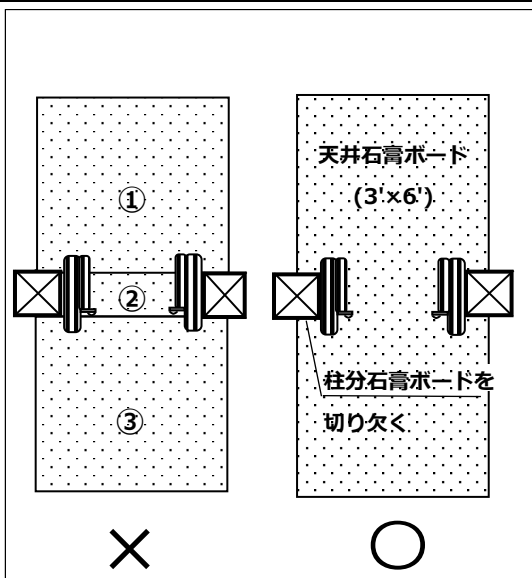
forステルス【標準仕様】

施工手順書2023/8改訂

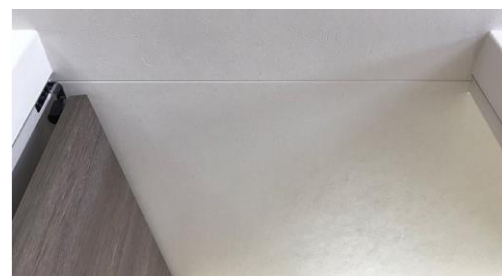
注 上枠下地が取付かない場合の天井ボードの貼り方

開き戸・引き戸(床付レール)共通

クロスよれの原因となりますので開口上部の天井石膏ボードの貼り方には注意が必要です。
※特に開口部直上に梁があり、右図ボード②を梁に直接留め付け、右図ボード①③を隙野縁に留め付ける場合、動きが出やすくなります。



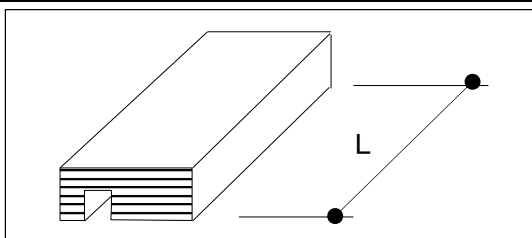
天井の石膏ボードは開口部でのジョイントを避ける



天井の石膏ボードにジョイントができる場合は、目地材・見切材を使用するのが有効です

注 引き戸(上吊)の上枠下地の長さ

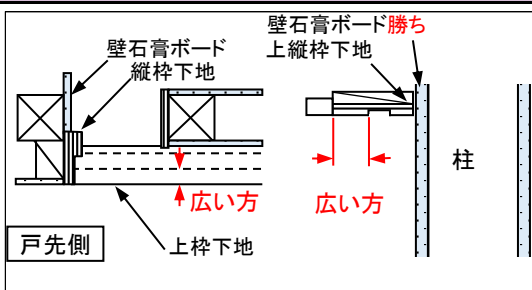
上枠下地の長さについて



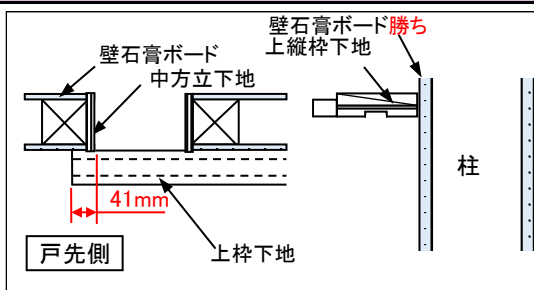
※L=2421mm以上の場合は、2分割で納品
※上枠下地の長さはw下地枠外寸法で納品

注 アウトセット片引き戸(上吊)の上枠下地の取付向きと取付位置

アウトセット片引き戸の上枠下地の取付向きと取付位置について



【アウトセット片引き戸エンド枠付きの場合】
上枠下地の向きに注意(広い方が外側)



【アウトセット片引き戸エンド枠無しの場合】
上枠下地の位置に注意(中方立下地内から41mm)

※アウトセット片引き戸の上枠は壁石膏ボード勝ちで納めます。

□上枠下地取付後の注意点

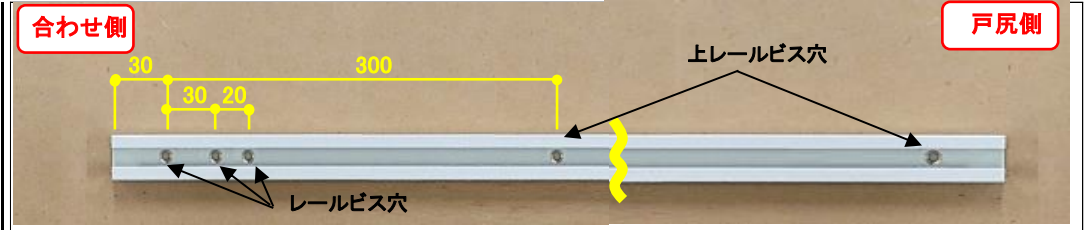
forステルス【標準仕様】

施工手順書2023/8改訂

注 ポケット戸：戸袋側の上レールは小壁を立てる前に取り付けて下さい！

小壁を立てる前に必ず戸袋用上レール【戸尻側】を取付けてください。その際、取付向きを確認して付属の上レール取付ビスで固定してください。

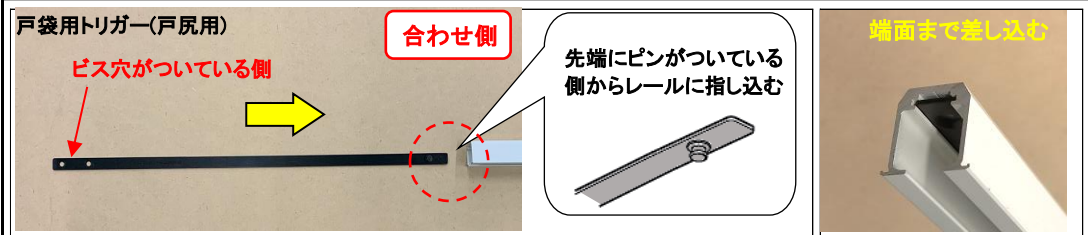
次に戸袋用トリガー(戸尻用)のビス穴がついている側を手を持ち、先端にピンがついている側から戸袋用レール【戸尻側】内に差し込み、合わせ側の端面まで差し込んでください。この時点でトリガーのビス留めはしないでください。



小壁を立てる前に戸袋用上レール【戸尻側】を向きを確認し、取付ける

※戸袋用上レール裏面の「戸尻側」「合わせ側」のシールを確認

※戸袋用上レール【戸尻側】の長さはDW-2mm



戸袋用トリガー(戸尻用)を戸袋用上レール【戸尻側】に差し込む

※長いトリガーが戸袋用トリガー(戸尻用)

戸袋用トリガー(戸尻用)を合わせ側の端面まで差し込む

ポイント

※レール内にゴミやアルミの切粉などはきれいに取り除いてください。

※ソフトクローザーの誤作動の原因となりますので、下記2点に注意してください。

・上レールの取付ビスの締め過ぎやビス頭の出っ張りが無いように注意してください。

・戸袋用レール【戸尻側】と【戸先側】の合わせ面にズレや段差できないようにに取付けてください。

※小壁施工後に戸袋用トリガー(戸尻用)を取り付ける際は、ドライバーの軸長さは100mm以上のものをご使用ください。

(ドライバーの軸長が短いとビス頭が斜めに取付けられてソフトクローザーが干渉し、破損の原因となります。)

□片方立下地、戸袋内部下地

片方立下地、戸袋内部下地の取付

片引き戸、ポケット戸、2・3枚引込み戸

片方立下地、及び戸袋内部下地を接着剤・取付ビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。



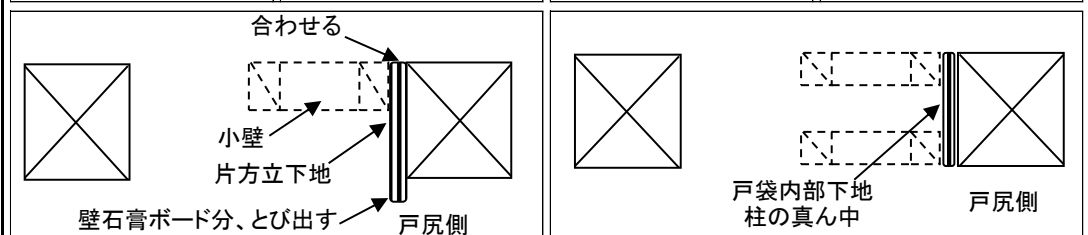
裏面に接着剤全面塗布
(推奨：酢ビ系)

下地表よりビス固定

調整ビス頭の飛び出し

×

○



【片引き戸、2・3枚引込み戸】
片方立下地の取付位置

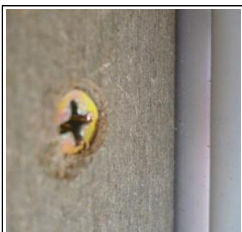
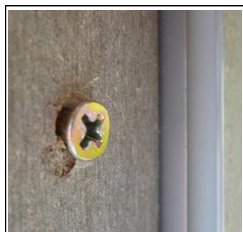
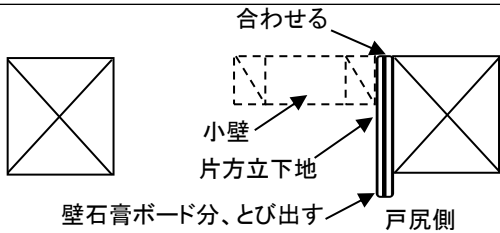
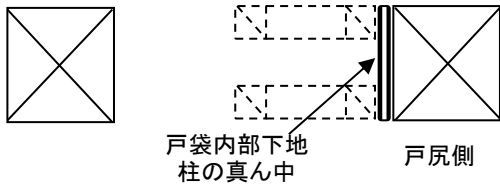
【ポケット戸】
戸袋内部下地の取付位置

ポイント

□片方立下地、戸袋内部下地

forステルス【標準仕様】

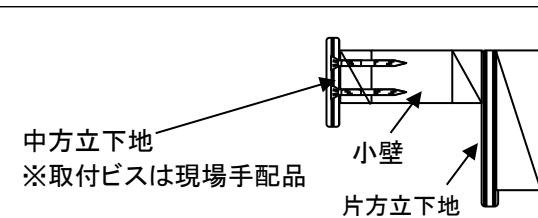
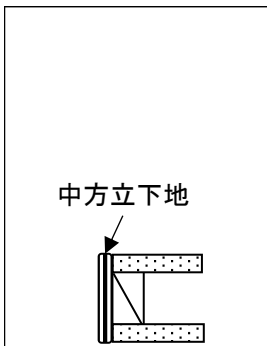
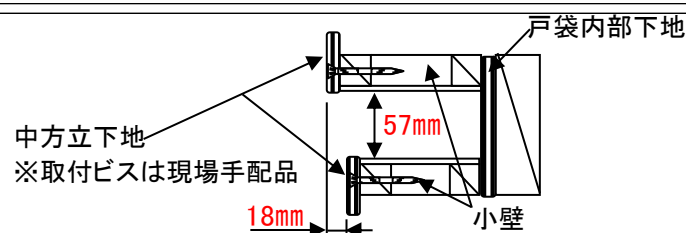
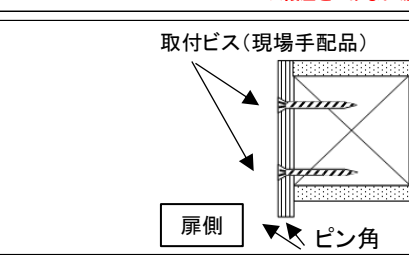
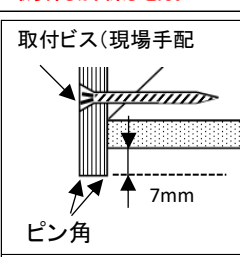
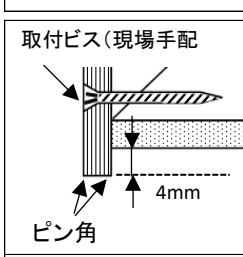
施工手順書2023/8改訂

片方立下地、戸袋内部下地の取付			片引き戸、ポケット戸、2・3枚引込み戸	
片方立下地、及び戸袋内部下地を接着剤・取付ビス(現場手配品)併用にて躯体に固定します。				
	裏面に接着剤全面塗布 (推奨：酢ビ系)	下地表よりビス固定	調整ビス頭の飛び出し ×	○
				
	【片引き戸、2・3枚引込み戸】 片方立下地の取付位置		【ポケット戸】 戸袋内部下地の取付位置	
ポイント				

中方立下地

forステルス【標準仕様】

施工手順書2023/8改訂

中方立下地の取付		片引き戸、アウトセット片引き戸、ポケット戸			
【共通】 中方立下地の取付は接着剤・取付ビス(現場手配品)併用で躯体に固定します。					
	中方立下地裏面に接着剤 全面塗布(推奨：酢ビ系)	小壁を立てて 中方立下地を取付	調整ビス頭の飛び出し ×	○	
【片引き戸】 小壁を立てて中方立下地を取り付けます。	 中方立下地 ※取付ビスは現場手配品 小壁 片方立下地				 中方立下地
	【片引き戸の場合】 ・小壁を立てて中方立下地の取付				
【ポケット戸】 手前と奥の小壁は18mmの段差をつけてください。	 中方立下地 ※取付ビスは現場手配品 戸袋内部下地 57mm 18mm 小壁				 中方立下地 = 小壁厚 壁厚よりチリはでない
	【ポケット戸の場合】 ・小壁間は57mm以上を確保 ・手前と奥の小壁は18mmの段差をつける。 ※段差をつけない場合、扉の吊り込み・取り外しが出来ません。				
【アウトセット片引き戸】 壁厚に対して扉側に7mm（塗り壁時4mm）のチリが出ます。	 取付ビス(現場手配品) 扉側 ピン角	 取付ビス(現場手配) 7mm ピン角	 取付ビス(現場手配) 4mm ピン角		
	【アウトセット片引き戸の場合】 ・チリが出る側(扉側)にピン角を向ける	【クロス仕上の場合】 壁厚より7mmチリが出る	【塗り壁仕上の場合】 壁厚より4mmチリが出る		
ポイント	※中方立下地は、床仕上げ面から上枠下地の下端までの長さです。 ※下地枠の取付にはしっかりと固定できるビス(現場手配品)を使用し、必ず下穴の開いている位置でビス留めしてください。 ※下地枠取り付け後にクロスで仕上げますので、ビスの頭が飛び出さないようにしてください。				

□小壁に必要な木下地、下部見切縁

forステルス【準耐火仕様】

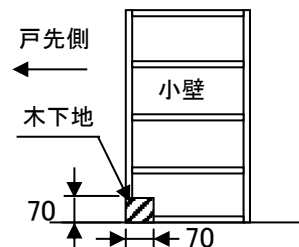
施工手順書2023/8改訂

注 小壁の所定位置に「別途木下地」の取付が必要な場合

- ・2枚引き込み戸
- ・3枚引き込み戸



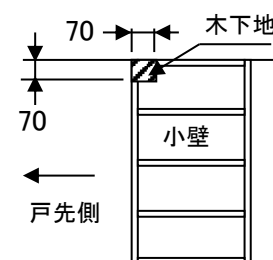
中方立下地側の小壁下端に70mm四方の木下地を取付
(後に専用の壁付ガイド金物が取付きます)



- ・片引き戸(床付レール)
- ・アウトセット
片引き戸(床付レール)



中方立下地側の小壁上端に70mm四方の木下地を取付
(後に専用金物のガイドピースが取付きます)



「別途木下地」：中方立下地を取付る木下地以外で金物を取り付けるために必要な木下地。

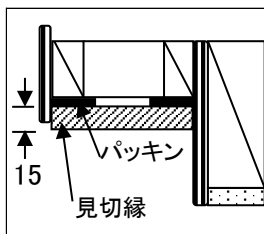
下部見切縁の取付

片引き戸(上吊)(床付レール)

小壁に沿わせて下部見切縁を接着剤・タッカー(現場手配)併用で取付けます。

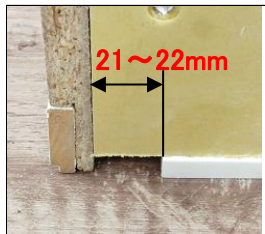
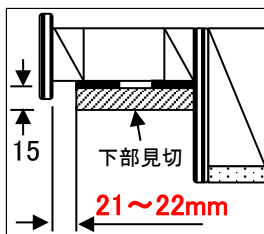
【注意事項】

下部見切縁の中は15mmのため小壁と下部見切縁の間にパッキン(現場手配)を入れ、壁石膏ボード15mm厚を乗せてください。



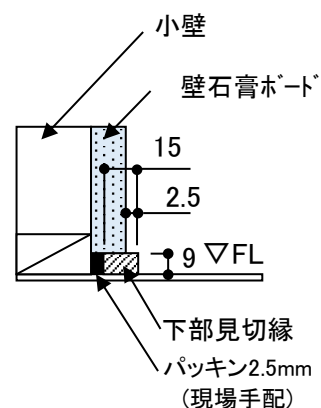
【床付ガイドの場合】

中方立下地に付けて取付



【壁付ガイドの場合】

中方立下地から空けて取付



準耐火仕様の場合、壁石膏ボード厚は15mmの設定のため下部見切り縁と小壁の間にパッキン2.5mmが必要

ポイント

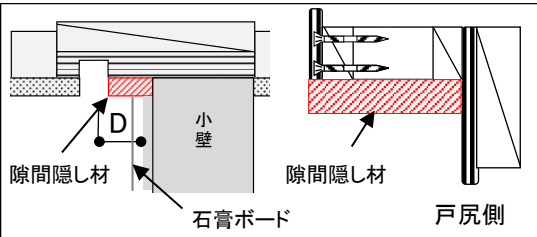
※下記の引き戸(上吊)の場合、床付ガイドが標準設定品です。壁付ガイドは別売品ですので別途ご注文ください。

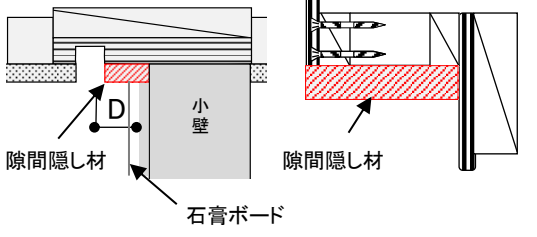
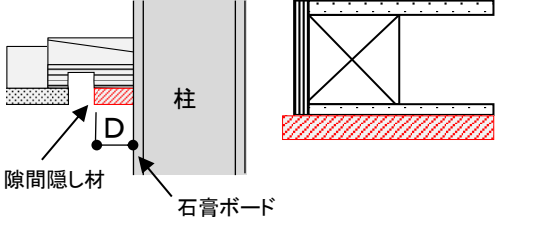
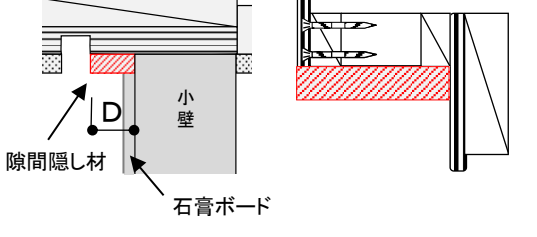
※床付ガイドが標準：片引き戸、アウトセット片引き戸、2枚引き違い戸

隙間隠し材

forステルス【準耐火仕様】

施工手順書2023/8改訂

隙間隠し材の取付【天井高納まり・天井ボード勝ち納まり】		引き戸(上吊)	
天井ボード勝ち納まりの場合は、上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を現場で正寸にカットして取付てください。	 隙間隠し材 石膏ボード 戸尻側		
	上枠下地のレール溝と小壁の間に隙間隠し材を取りつける		

隙間隠し材の寸法一覧			
開閉様式別		クロス仕上げ	塗り壁仕上げ
片引き戸	 隙間隠し材 石膏ボード 小壁	D=30.5mm	D=33.5mm
アウトセット片引き戸	 隙間隠し材 石膏ボード 柱	D=22.5mm フィットシリーズの場合 D=18.5mm	左記と同じ
2・3枚引込み戸	 隙間隠し材 石膏ボード 小壁	D=35.5mm マルコシリーズの場合 D=33mm	D=38.5mm マルコシリーズの場合 D=36mm
ポイント	※マルコシリーズは扉厚、フィットシリーズは上レールの断面寸法が異なりますので隙間隠し材のD寸法が異なります。 ※「標準仕様・壁石膏ボード厚12.5mm」は寸法が異なりますのでご注意ください。		

□縦枠下地

forステルス【準耐火仕様】

施工手順書2023/8改訂

縦枠下地の取付

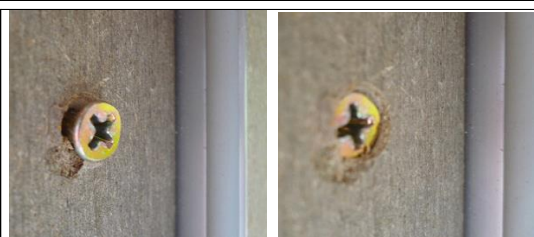
共通

縦枠下地を壁厚(柱)の中央にあてレーザー等で立ちを見ながら、接着剤併用で同梱のコーススレッドビスで取付けてください。

※クロス・塗り壁で仕上げますのでビス頭の飛び出しは厳禁です。



縦枠下地裏面に接着剤全面塗布(推奨：酢ビ系)

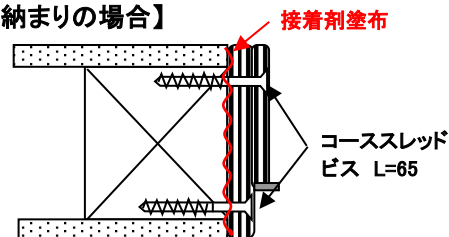


ビス頭の飛び出し

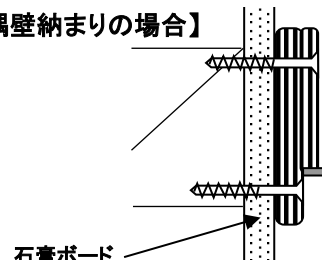
×

○

【袖壁納まりの場合】



【入隅壁納まりの場合】



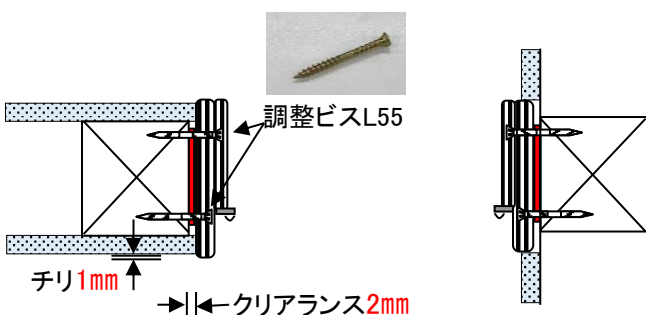
コーススレッドビスで建枠下地を取付

【準耐火納まりの注意事項】

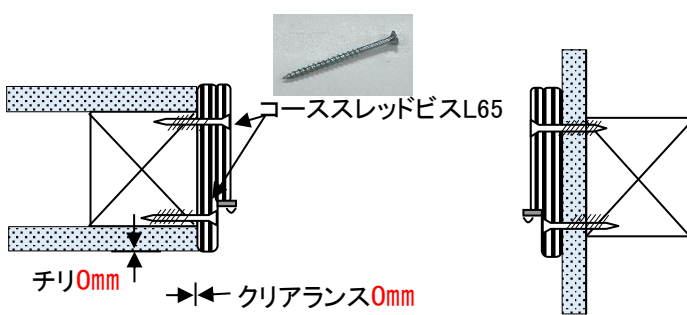
- ・コーススレッドビスで縦枠下地を取付けます。
- ・縦枠下地と柱(木下地)のクリアランスは無し、チリも出ない設定です。(壁厚＝縦枠下地の見込み)
- ・入隅の場合、壁石膏ボード15mm(防火被覆)を通して縦枠を取付けます。
- ・縦枠下地を含む全ての下地枠を取付の際、同梱の開口定規(後頁15ページ)をご活用ください。

注 「準耐火仕様・壁石膏ボード厚15mm」と別冊「標準仕様・壁石膏ボード12.5mm」との違い

別冊【標準仕様】入隅部は壁石膏ボード負け



【準耐火仕様】入隅部は壁石膏ボード勝ち

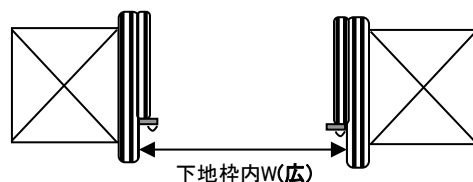


□開口定規

開口定規 (片開き戸)

共通

下地枠を取付けた後、開口定規で下地枠内W(広)寸法を確認してください。寸法が異なる場合は開口を調整するか、扉手配前の場合は扉の寸法を変更してください。(扉手配済みの場合



※引き戸に開口定規は同梱されていません。
(は追加手配となります)

下地枠内(広)に開口定規をあて開口を確認

下地枠内(広)

※引き戸に開口定規は同梱されていません。

□石膏ボード・シンプル巾木の取付

forステルス【標準仕様】

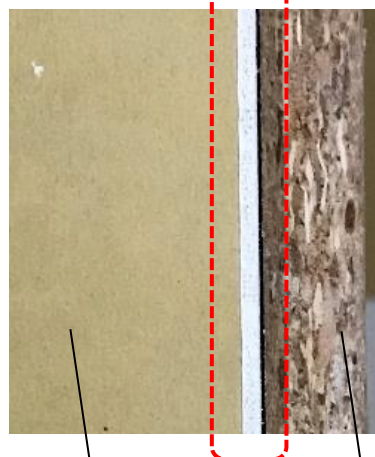
施工手順書2023/8改訂

石膏ボードの取付け時の注意点

枠に突き付ける石膏ボードは面をとり、枠との間に隙間が出ないように石膏ボードを取付けてください。

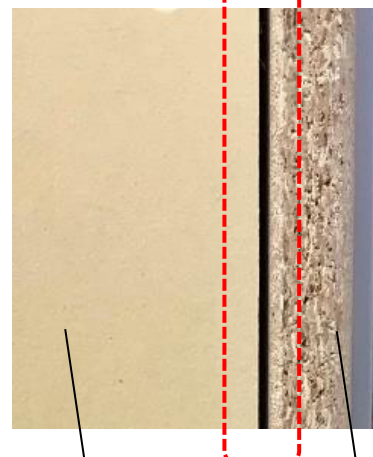
【注意事項】

クロスや塗り壁の仕上がりに影響がでる恐れがありますので必ず守ってください。



石膏ボード

下地枠



石膏ボード

下地枠

枠と石膏ボードの
隙間無し



枠と石膏ボードの
隙間有り



石膏ボードの
面取有り



石膏ボードの
面取無し



シンプル巾木コーナー役物・取付け時の注意点

枠の取付・調整、及びクサビ、またはパッキンの固定が終わったら、巾木を接着剤で縦枠下地の下部の切欠き部分にはめ込むように取付けてください。



接着剤全面塗布
(推奨：酢ビ系)

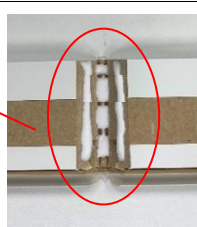
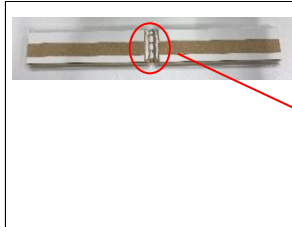


【クロス貼り仕上の場合】
切欠寸法：7×30



【塗り壁仕上の場合】
切欠寸法：4×30

下地の欠き込み部分にはめ込む様に取付



【注意事項】巾木コーナー役物のVカット部も接着剤を塗布してください。※塗布しないと割れ易くなります。

ポイント ※出荷時には、シンプル巾木の切欠き加工がされています。
高さ30mm以上の巾木をご使用の場合は、現場で高さ方向の切り欠きを行ってください。
※厚さ7mmを超える巾木(現場手配品)には対応しておりません。